

3-1 伊澤 鋭祐  
『N. 6 [ナンバーシックス]』 あさのあつこ著 講談社

理想郷を体現した街に生まれた少年と、その街を憎む少年の物語。その街で突然発生した怪奇現象をきっかけに二人は共に行動することに…。二人の運命は…。小見出しの始めにある文学作品の一節に注目！



3-1 菊池 翔太  
『エウロパの底から』 入間人間著 KADOKAWA

「才能」が枯れてしまった、と思っていた「私」の書いた小説の内容とまったく同じ殺人事件が起こった。そんな小説家の視点から起こる出来事を描く。犯人と疑われながらも小説を書き続ける「私」の心情に注目です。



3-2 緑川 佳奈  
『この世で一番大切な日』 十川ゆかり著 サンクチュアリ出版

子どもであれ大人であれ誰にとっても特別な誕生日。そんな誕生日にまつわる、心がぼかぼかと温まるような31のエピソードが詰まった1冊です。「誕生日」って本当に素晴らしいと再確認させられます。



3-2 梶山 茉美  
『霧雨が降る森』 巧葉つむぎ著 KADOKAWA

突然両親を事故で失い天涯孤独となってしまったシオリは、ある日見つけた写真を元に両親の故郷阿座河村へ行くことに。そこで待っていたのは…。原作であるフリーゲームの世界観はそのままに、違う視点からの話なので知らなくても楽しめます！



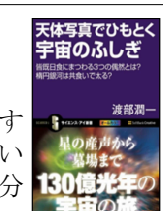
3-3 石川 大翔  
『貝殻チェリー』 青山こはる著 講談社

ケータイ小説が好きな主人公夏美と、とあるサイトに小説を上げている不良鷹山との、時に甘く、時に切ない学園青春恋愛物語。触れ合う内に夏美に変化が…。ケータイ小説をキッカケに始まる2人の恋愛が必見です！！



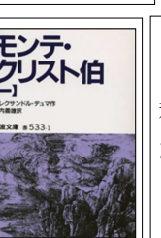
3-3 和田 帆風  
『天体写真でひもとく宇宙の不思議』 渡部潤一著 サイエンス・アイ

最新鋭の望遠鏡が撮影した様々な天体。ニュースなどで目にするこれらの銀河や星団、星雲たちが、実に個性的な姿をしていることに、きっと驚く。オールカラーなので、写真が非常に分かりやすく手軽に読めます。



3-4 小屋 菜々美  
『モンテ・クリスト伯』 A・デュマ著 岩波書店

結婚間近で幸せになるはずだった青年は様々な人物に罪を着せられ、監獄に収監されてしまう。14年後、脱獄した彼の復讐が始まる。主人公の青年の心情の動きに注目。確実に引き込まれます。



3-4 三澤 結  
『きみの友だち』 重松清著 新潮社

私はみんなを信じない。だからあんたと一緒にいる。ある事件がきっかけでクラスの誰とも付き合わなくなった女の子2人。「友だち」の本当の意味を探す。この本を読んでみて、1日1日を大切に過ごそうと思った。とても考えさせられる作品です。



3-5 安藤 匠眞  
『天空の蜂』 東野圭吾著 講談社

日本国民全てを人質としたテロリストの脅迫に対し、政府が下した非情の決断とは。そしてヘリの燃料が尽きる時…圧倒的な緊迫感で魅了するサスペンス。最後までハラハラドキドキします。



3-5 猪狩 玲音  
『エンジェル』 石田衣良著 集英社

投資会社の社長・掛井は、何者かに殺され幽霊になってしまう。幽霊となっても自分の死の真実を探すため事件を追っていくが、実は自分をおとしめるための罠があったことが分かり始める。最後のクライマックスはおもわぬ展開で驚くこと必須。



3-6 藤田 莉奈  
『県庁おもてなし課』 有川浩著 角川書店

高知県庁おもてなし課は県の観光を盛り上げるため設立された。観光立県にすべく悩みながらも奮闘するおもてなし課の地方ビジネスストーリー。実在するおもてなし課が舞台なので、とてもリアリティーがあります。



3-6 磯野 遥  
『人生の目的』 本田健著 大和書房

自分の人生を後悔で終わらせないために…。本当の自分らしさとは何か、人の幸せとは何か。あなたの生き方を大きく変える一冊！この本を読むことで隠された自分の秘密がわかってしまいます！



3-7 兼平 武宏  
『手紙』 東野圭吾著 文藝春秋

進学、恋愛、就職と幸せをつかもうとするたび、殺人犯の弟という運命が直貴に立ちはだかる。犯罪被害者の家族を描く感動物語。兄の剛志のせいで、弟直貴の人生が壊れてしまうところが悲惨である。



3-7 菊池 葉耶斗  
『これぞなっとく使えるスポーツサイエンス』 征矢英昭著 講談社

「基礎知識として」「トレーニングのために」「試合で勝つために」「健康な体のために」役立つ知識が書いてある。「運動種目によってウォーミングアップは変えるべきか」などいくつかの項目は、経験者にとっては分かっていることなので、この本は初心者こそお勧めです。



3-8 塩谷 真由  
『天地明察』 沖方丁著 角川書店

江戸時代に「日本独自の暦をつくる」という大事業を成し遂げる渋川春海という男を描いた作品です。算術に生きがいを持つ春海の、改暦にのめり込む姿が美しいです。映画化もされています。渋川春海の20年にわたる奮闘が描かれています。



3-8 柴田 七海  
『虚構推理』 城平京著 講談社

深夜、鉄骨を振るい人を襲う亡霊「鋼人七瀬」。知恵を与える巫女となった美少女、岩永琴子が空前絶後の推理で立ち向かうが…？桁外れな人物、戦いなど驚きの奔流に溺れそうになる作品です。



3-9 大友 崇史  
『王様ゲーム』 金沢伸明著 双葉社

クラスメイトに「王様」と名乗るものからメールが来て、様々な命令がくだされる。皆でその命令をクリアしていき、「王様」の正体をつきとめていく話。今までには無い、クラスで起こる命がけのゲームという発想が面白い。



3-9 茂又 悠太  
『マダガスカル2』 J・Eブライド著 角川書店

動物園を脱出し4頭がたどり着いたのはマダガスカル。そこで仲間と出会い恋に落ちる。しかし、大雨が降り2頭がはぐれてしまった。はたして、彼らの運命はいかに。全体的に感動物語でとても面白いです。映画の小説版なので、読んでみてください。



3-10 鳴原 琢斗  
『チームふたり』 吉野万理子著 学研

主人公の大地は小学校最後の卓球大会へ出場。そのダブルスの組み合わせは、意外にも5年生の純とのペアでした。優勝を目指していたのに消沈する大地ですが…。マイナーなイメージの卓球の魅力が生き生きと描かれている作品です。



3-10 菊地 康平  
『地球でデート!』 A-WORKS著 A-WORKS

気軽に行ける週末旅行から、一生に一度の超豪華旅行まで、家族でも楽しめるし恋人同士の絆をも深めるスペシャルトリップ！サンゴ礁の島モルディブ、秘境アマゾン川、オーロラを見ながらアイスホテルなど、ロマンチックな旅が本で体験できる。

